

No.5

ぼらりす広報部
(学校運営協議会)

ぼ ☆ ら ☆ り ☆ す 通 信

地域の力を合わせて みんなで育てるより良い学校



“いじめ問題解決に向けた教育懇談会” を開催しました

いじめ問題解決のため、12月4日夜、地域づくりセンター藤岡におよそ100名の保護者、先生、地域の皆さんが集まり、学校や家庭・地域でできる取組みについて話し合いました。

👉 三校の児童生徒による学校での取組みを紹介

「ありがとうボックス」「メディアのルールづくり」「地域活動」など、子どもたちが「いじめのない、よりよい学校」とするために自ら考え、行動している姿に、会場からは自然と拍手がわき起こりました。



👉 キャリアアップパワープラン(CPP)とつながる、家庭・地域の取組み

参加者は「自分の家庭での関わりが、CPPのどれに該当しているのか」について話し合いました。

○読み聞かせや家庭学習 ➡ **かしこく**
○ありがとう/相談ボックス ➡ **心ゆたかに**

○委員会活動や外遊び ➡ **たくましく**
○地域活動や進路学習 ➡ **社会に生きる**

👉 “自立・共生する子ども”を育てる中で「いじめのない学校、地域づくり」を進めるためにできること

学年や学校の枠を越えた児童生徒の交流を増やし、地域の伝統を引き継いでいく活動を活発にする。

SNS・メディアの利用については、家庭と学校が連携し、専門家も交えながら、ルール作りを進めていく。

北斗祭のように、委員会や児童会、生徒会活動で、子どもたちが自ら考え、企画し、行動できる場を増やしたい。

子どもたちの進路選択に活かせるよう、チャレンジウィークや職業調べに積極的に協力していく。

日直
だいきち👉 学校ボランティアの力が、
地域の子どもたちを支えています

懇談会では、学校ボランティアについても意見が交わされました。

学校ボランティアに必要なのは、特別な技術やスキルではありません。

先生方からは「これまで必要でも手が回らなかった部分に、手当てができるようになった」という声もあり、その存在は“ありがたい”を超えて「地域の教育の質を支える大きな力」になっています。

Hi「コミュ」と申します。-No.26-



【問題です】

以下の中で、いじめを防ぐために大切な考え方はどれかな？

- ①LINEやSNSで、相手の顔が見えなくても、スタンプや絵文字なら少しきつい言葉を送っても大丈夫？
- ②「ちょっとからかっただけ」「冗談だよ」と言われたら、それは「いじめ」ではない？
- ③「自分がされて嫌なことは、友達にもしない」は、いじめ防止の基本ルールだ！

答え ③